

国際交流促進プログラム（2020） 大学院学生の留学支援プログラム

※新型コロナウイルスの完全拡大に伴い、実施内容の一部を変更しました。今後の情勢により、対象期間や実施の可否について変更の可能性がありますので注意願います。

農学生命科学研究科に在学する大学院学生を対象にした、留学を支援するプログラムを下記のとおり実施します。

本プログラムに興味のある方は是非応募してください。

○対象者・プログラムの内容

別紙の「実施要領」を熟読のうえ申請してください。

○留学期間

1. 春募集

2021年1月1日以降に出発し、2021年12月末日までに帰国するものとします。
ただし、留学期間は3ヶ月（90日）以上1年以内とします。

2. 秋募集

2021年4月1日以降に出発し、2022年3月末日までに帰国するものとします。
ただし、留学期間は3ヶ月（90日）以上1年以内とします。

○申請方法

1. 自身の学籍及び履修状況を確認し、事前に指導教員の下承を得てください。
2. 下記の提出書類を本プログラム担当までメールにてお送りください。

申請締切 1. 春募集 2020年6月26日（木）17時（厳守）

2. 秋募集 2020年12月4日（金）17時（厳守）

3. 上記締切後、審査を行い締切翌月に採否をお知らせする予定です。

<提出書類（可能な限り、日本語で記入してください）>

【様式1～3】をクリックすると様式をダウンロードすることが出来ます。

【様式1】：申請書 →エクセルファイル（.xlsx）で提出してください

【様式2】：留学趣旨書 →PDF ファイル（.pdf）で提出してください

【様式3】：留学計画書 →PDF ファイル（.pdf）で提出してください

【様式4】：指導教員所見 →PDF ファイル（.pdf）で提出してください

【その他】：受入先研究機関発行の受入許可書・Invitation Letter あるいはメールの写し等

※ワードファイル（.docx）では提出できませんので、ご注意ください。

<注意事項>

- ・一般的な留学のための情報や危機管理等については、「東京大学海外留学・国際交流情報」ウェブサイトを参照してください。特に、海外渡航危機管理ガイドブックは必ず熟読してください。
- ・留学先のビザ（査証）については、応募前にビザ（査証）申請手続きの内容や発給までの期間等について確認をしておいてください。
- ・その他、国際交流促進プログラム全般について、ご不明な点がございましたら以下の担当までご連絡ください。

国際交流促進プログラム担当

農学系教務課学生支援チーム（学生生活担当）

Email: gakusei.a@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

2020 年度 国際交流促進プログラム

留学支援プログラム実施要領

(2020 年 4 月改訂)

※ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、実施内容の一部を変更しました。今後の情勢により、対象期間や実施の可否について変更の可能性がありますので注意願います。

○プログラムの趣旨

1. 留学を通じて広く国際的な経験と知識を身につけ、より深く、かつ幅広い研究活動を目指すことに資することを目的として、海外の大学、研究所・研究機関等への留学を奨学金の支給により支援します。
2. このプログラムにより、多様な専門分野の研究に若い時期に参画し、海外における最先端の研究手法や当該分野での人脈の取得、国際的な人的ネットワークの形成を得られることが期待され、また、併せて英語でのコミュニケーション能力の向上も期待されます。
3. より多くの大学院学生に国際的な経験を身につける機会を与えることを目的とし、主に海外留学を経験したことの無い者を優先することとします。
4. 指導教員の研究プロジェクトの補完的な留学は上記の趣旨にそぐわないものとします。

○プログラム内容

本プログラムは留学を希望する者に奨学金として渡航支援金及び滞在費について支給するものとします。

★★★本プログラムでは、他のプログラム等との併給を認めません★★★

1. 渡航支援金は日本国内から留学先までへの往復を対象とし、1回を限りとします。留学先の地域により定額で支給します。(詳細は別表参照)
 - A. 近距離 70,000 円 (韓国、中国、台湾など、飛行時間 4 時間程度までの地域)
 - B. 中距離 150,000 円 (東南アジア、モンゴル、ハワイ諸島など)
 - C. 長距離 250,000 円 (上記以外、飛行時間 8 時間以上の地域)
2. 滞在費は留学先によって以下の単価を月額として支給します。(詳細は別表参照)
 - ・指定都市 130,000 円 (ニューヨーク、パリ、ロンドン、シンガポールなど)
 - ・甲地方 110,000 円 (北米、欧州、中近東)
 - ・乙地方 100,000 円 (指定都市・甲地方・丙地方以外の地域)
 - ・丙地方 90,000 円 (アジア、中南米、アフリカ)
3. 渡航支援金および滞在費は特段の理由により必要と認めた場合には、増減額を行うことがあります。
4. 上記の奨学金は **100万円を上限**とします。上記の算定により 100万円を超える金額となった場合には、超過額を切り捨て、100万円の支給となります。
例：パリに 10 か月の留学 13 万円×10 月+25 万円=155 万円 → 100 万円
バンコクに 6 か月の留学 9 万円×6 月+15 万円=69 万円 → 69 万円

○対象者

農学生命科学研究科に在学する大学院学生 (修士課程および博士課程)

○採用数

若干名 (予算の範囲内で採択しますので変動します。)

○留学期間

1. 春募集

**2021年1月1日以降に出発し、2021年12月末日までに帰国するものとします。
ただし、留学期間は3ヶ月（90日）以上1年以内とします。**

2. 秋募集

2021年4月1日以降に出発し、2022年3月末日までに帰国するものとします。
ただし、留学期間は3ヶ月（90日）以上1年以内とします。

○提出書類

- ・申請書（様式1）
- ・留学趣旨書（様式2）
- ・留学計画書（様式3）
- ・指導教員所見（様式4）
- ・受入先研究機関発行の受入許可書・Invitation Letter、あるいはメールの写し等

○選考方法

提出書類にて以下の項目により総合的に判断して選考します。なお、留学経験の無い者は優先順位を上げ、過去に本プログラムの支援を受けた者については、優先順位を下げることとしています。

- ・本プログラムの趣旨に沿って有意な留学であるか
- ・留学計画に現実性があり、実行可能であるか

○注意事項等

- ・本プログラムでは、他のプログラム等との併給を認めません。
他のプログラムと併願していて、どちらも採択された場合には、どちらかを辞退していただくことになります。
- ・日本学術振興会特別研究員に採用されている者については、滞在費を減額します。
- ・予算の状況から、支給額の減額調整を伴う条件付採用が行われる場合があります。
- ・採用後の留学内容の変更については、原則、認められません。
- ・留学先（渡航国・地域、研究機関等）が外務省危険レベル2以上の地域への留学は認められません。留学先の状況から安全な留学が困難と認められる場合は、応募の却下および採用取り消しをする場合があります。
- ・留学先が本国への帰国となるような留学は認められません。
- ・採用された場合、留学中の保険として、公益財団法人日本国際教育支援協会（JEES）の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に加入する必要があります（加入に要する経費は自己負担）。
- ・本プログラム採用者には、留学中や帰国後に、農学生命科学研究科の各種取組（報告会や説明会への参加、本プログラムの広報や学生へのアドバイス、パンフレットの作成及び所定の報告書の提出やアンケート調査等）について、参加・協力を義務付けていますので予めご了承ください。
- ・上記の農学生命科学研究科の各種取組への参加・協力や本プログラムにおける活動・報告等についてご対応をいただけない場合、プログラムの打ち切りや、プログラムで支援した経費等を返金していただく場合がありますのでご注意ください。

別 表

留学支援プログラムの渡航支援金・滞在費月額

2020 年 1 月現在

渡航支援金

区分	距 離	金 額	地 域
A	近距離	70,000 円	韓国、中国、台湾など、飛行時間 4 時間程度までの地域
B	中距離	150,000 円	東南アジア、モンゴル、ハワイ諸島など
C	遠距離	250,000 円	上記以外、飛行時間 8 時間以上の地域

滞在費月額

地 区	地域名・都市名	地 区	地域名・都市名
1. 指定都市 奨学金額 <u>130,000 円</u>	アビジャン、アブダビ、クウェート、 サンフランシスコ、シンガポール、 ジッダ、ジュネーブ、ニューヨーク、 パリ、モスクワ、リヤド、ロサンゼルス、 ロンドン、ワシントン	3. 乙地方 奨学金額 <u>100,000 円</u>	<u>指定都市・甲地方・丙地方以外の 地域</u> 【主な都市】 ウェリントン、クアラルンプール、 サンクトペテルブルク、シドニー、 ジャカルタ、ソウル、ソフィア、タシケント、 バンコク、プラハ、ブダペスト、マニラ、 メルボルン、ヤンゴン
2. 甲地方 奨学金額 <u>110,000 円</u>	・北米 ・欧州 (アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、 ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、 カザフスタン、キルギス、ジョージア、 クロアチア、コソボ、スロバキア、スロベニア、 セルビア、タジキスタン、チェコ、 トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア、 ベラルーシ、ポーランド、 ボスニア・ヘルツェゴビナ、 マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、 モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、 リトアニア、ルーマニア、ロシアを除く) ・中近東 【主な都市】 アムステルダム、アンカレッジ、ウィーン、 ヴァンクーバー、エルサレム、コペンハーゲン、 シアトル、シカゴ、チューリッヒ、トロント、 ニューオーリンズ、ハンブルグ、フランクフルト、 ブラッセル、ホノルル、ボストン、マドリッド、 モントリオール、ローマ	4. 丙地方 奨学金額 <u>90,000 円</u>	・アジア (インドシナ半島[シンガポール、タイ、 ミャンマー、マレーシアを含む]、 インドネシア、大韓民国、東ティモール、 フィリピン、ボルネオ、香港を除く) ・中南米 ・アフリカ 【主な都市】 カイロ、ケープタウン、サンパウロ、 上海、台北、ナイロビ、ブエノスアイレス、 北京、メキシコシティ、リオデジャネイロ、 リマ

国際交流促進プログラム 距離・地域区分表

2020年1月現在

【地域別・50音順】

	国・地域名	距離区分	地域区分	主な都市
アジア	アフガニスタン	C	丙	
	インド	C	丙	
	インドネシア	B	乙	ジャカルタ
	カンボジア	B	乙	
	シンガポール	B	指定	シンガポール
	スリランカ	C	丙	
	タイ	B	乙	バンコク
	ネパール	C	丙	
	パキスタン	C	丙	
	バングラデシュ	C	丙	
	フィリピン	B	乙	マニラ
	ブータン	C	丙	
	ブルネイ	B	丙	
	ベトナム	B	乙	
	マカオ	A	丙	
	マレーシア	B	乙	クアラルンプール
	ミャンマー	B	乙	ヤンゴン
	モルディブ	C	丙	
	モンゴル	B	丙	
	ラオス	B	乙	
	香港	A	乙	
	台湾	A	丙	台北
	大韓民国	A	乙	ソウル
	中国	A	丙	北京、上海
	東ティモール	B	乙	
中南米	アルゼンチン	C	丙	ブエノスアイレス
	ウルグアイ	C	丙	
	エクアドル	C	丙	
	エルサルバドル	C	丙	
	キューバ	C	丙	
	グアテマラ	C	丙	
	コスタリカ	C	丙	
	コロンビア	C	丙	
	ジャマイカ	C	丙	
	チリ	C	丙	
	ドミニカ共和国	C	丙	
	トリニダード・トバゴ	C	丙	
	ニカラグア	C	丙	
	ハイチ	C	丙	
	パナマ	C	丙	
	パラグアイ	C	丙	
	ブラジル	C	丙	サンパウロ、リオデジャネイロ
	ベネズエラ	C	丙	
	ペルー	C	丙	リマ
	ボリビア	C	丙	
	ホンジュラス	C	丙	
	メキシコ	C	丙	メキシコシティ
中近東	アラブ首長国連邦	C	指定	アブダビ
	アラブ首長国連邦	C	甲	上記指定都市以外
	イエメン	C	甲	
	イスラエル	C	甲	エルサレム
	イラク	C	甲	
	イラン	C	甲	
	オマーン	C	甲	
	カタール	C	甲	
	キプロス	C	甲	
	クウェート	C	指定	クウェート
	クウェート	C	甲	上記指定都市以外
	サウジアラビア	C	指定	ジッダ、リヤド
	サウジアラビア	C	甲	上記指定都市以外
	シリア	C	甲	
	トルコ	C	甲	
	バーレーン	C	甲	
	パレスチナ	C	甲	
	ヨルダン	C	甲	
	レバノン	C	甲	

国際交流促進プログラム 距離・地域区分表

2020年1月現在

	国・地域名	距離区分	地域区分	主な都市
アフリカ	アルジェリア	C	丙	
	ウガンダ	C	丙	
	エジプト	C	丙	カイロ
	エチオピア	C	丙	
	ガーナ	C	丙	
	ガボン	C	丙	
	カメルーン	C	丙	
	ガンビア	C	丙	
	ギニア	C	丙	
	ケニア	C	丙	ナイロビ
	コートジボワール	C	指定	アビジャン
	コートジボワール	C	丙	上記指定都市以外
	コンゴ共和国	C	丙	
	コンゴ民主共和国	C	丙	
	ザンビア	C	丙	
	シエラレオネ	C	丙	
	ジブチ	C	丙	
	ジンバブエ	C	丙	
	スーダン共和国	C	丙	
	セネガル	C	丙	
	タンザニア	C	丙	
	チャド	C	丙	
	チュニジア	C	丙	
	ナイジェリア	C	丙	
	ナミビア	C	丙	
	ニジェール	C	丙	
	ベナン共和国	C	丙	
	ボツワナ	C	丙	
	マダガスカル	C	丙	
	マラウイ	C	丙	
	モーリタニア	C	丙	
	モザンビーク	C	丙	
	モロッコ	C	丙	
	リビア	C	丙	
	リベリア	C	丙	
	ルワンダ	C	丙	
	南アフリカ	C	丙	ケープタウン
	南スーダン共和国	C	丙	
北米	アメリカ合衆国	C	指定	ロサンゼルス、ニューヨーク市、サンフランシスコ、ワシントンD.C. ※ニューヨーク州、ワシントン州の間違ひが多いため注意してください。
	アメリカ合衆国	C	甲	ボストン、シアトル、アンカレッジ、シカゴ、ニューオリンズ等上記指定都市以外
	アメリカ合衆国	B	甲	ハワイ州
	カナダ	C	甲	バンクーバー、トロント、モントリオール
オセアニア	オーストラリア	C	乙	シドニー、メルボルン
	キリバス	B	乙	
	クック諸島	B	乙	
	サモア	B	乙	
	ソロモン諸島	B	乙	
	ツバル	B	乙	
	トケラウ諸島	B	乙	
	トンガ	B	乙	
	ナウル	B	乙	
	ニウエ	B	乙	
	ニューカレドニア	B	乙	
	ニュージーランド	C	乙	ウェリントン
	バヌアツ	B	乙	
	パプアニューギニア	B	乙	
	パラオ	B	乙	
	フィジー諸島	B	乙	
	マーシャル諸島	B	乙	
	ミクロネシア	B	乙	

国際交流促進プログラム 距離・地域区分表

2020年1月現在

	国・地域名	距離区分	地域区分	主な都市
ヨーロッパ	アイスランド	C	甲	
	アイルランド	C	甲	
	アゼルバイジャン	C	乙	
	アルバニア	C	乙	
	アルメニア	C	乙	
	イタリア	C	甲	ローマ
	ウクライナ	C	乙	
	ウズベキスタン	C	乙	タシケント
	エストニア	C	乙	
	オーストリア	C	甲	ウィーン
	オランダ	C	甲	アムステルダム
	カザフスタン	C	乙	
	ギリシャ	C	甲	
	キルギス	C	乙	
	クロアチア	C	乙	
	コソボ	C	乙	
	ジョージア	C	乙	
	スイス	C	指定	ジュネーブ
	スイス	C	甲	チューリッヒ等上記指定都市以外
	スウェーデン	C	甲	
	スペイン	C	甲	マドリッド
	スロバキア	C	乙	
	スロベニア	C	乙	
	セルビア	C	乙	
	タジキスタン	C	乙	
	チェコ	C	乙	プラハ
	デンマーク	C	甲	コペンハーゲン
	ドイツ	C	甲	フランクフルト、ハンブルグ
	トルクメニスタン	C	乙	
	ノルウェー	C	甲	
	ハンガリー	C	乙	ブダペスト
	フィンランド	C	甲	
	フランス	C	指定	パリ
	フランス	C	甲	上記指定都市以外
	ブルガリア	C	乙	ソフィア
	ベラルーシ	C	乙	
	ベルギー	C	甲	ブラッセル
	ポーランド	C	乙	
	ボスニア	C	乙	
	ポルトガル	C	甲	
	マケドニア	C	乙	
	マルタ	C	甲	
	モルドバ	C	乙	
	モンテネグロ	C	乙	
	ラトビア	C	乙	
	リトアニア	C	乙	
	リヒテンシュタイン	C	甲	
	ルーマニア	C	乙	
	ルクセンブルク	C	甲	
	ロシア	C	指定	モスクワ
	ロシア	C	乙	サンクトペテルブルグ等上記指定都市以外
	ロシア	A	乙	ウラジオストク、ハバロフスク等、極東地域
	英国	C	指定	ロンドン
	英国	C	甲	上記指定都市以外
その他				

※本制度の指定都市について、派遣先大学等の住所表記に指定都市名が含まれる都市に限ることとするので、ご留意ください。